

2020年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

1 事業の成果

2020年度は新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」と記載）拡大の影響を受け、小児がん支援の事業活動を従来通り継続していくための対応に追われた1年であった。

【1】COVID-19の拡大以降、寄付につながるイベントの中止が相次いだ結果、東京マラソン、大阪マラソン等のチャリティー寄付収入として見込んでいた3,500万円見当の寄付収入が見込めなくなり、寄付収入が計画に対して半減する見込みとなった。

そのため、HPやメールで会員や昨年の寄付者等、支援者の方々に緊急の支援のお願いをすると共に助成金の申請やクラウドファンディングも利用し、対応した。

助成金申請については、後述する交通費等補助金制度の資金として、4月に「新型コロナウイルス感染症拡大防止基金」と「みてね基金」に応募し、幸いにも採択いただき、2基金合わせて1,800万円の助成金をいただくことが出来た。また、奨学金事業用のクラウドファンディングも行い（9～11月）、1,000万円超（手数料を引いて890万円）の資金を集めることが出来た。

また、HPを見て、NHKやラジオ、新聞等メディアでも当法人の窮状を取り上げていただいたこともあり、会員の方々だけでなく、一般の方々や企業の社員等から多くの支援をいただくことが出来た。結果寄付収入としては前年87,90万円を上回る145,15万円（助成金込み）を確保できた。

【2】また、小児がん患児・経験者やその家族がCOVID-19の影響を受け、それが当法人の事業活動に影響を与えた。

①小児がんの治療は、時に500km離れた遠隔地の病院で治療を受ける必要がある。この時、感染リスクを避けるため、医師より移動に公共交通機関を利用することが止められ、自家用車、レンタカー、タクシー等を利用するよう指示されている。また、付添いの方の宿泊もペアレンツハウス、ファミリーハウス、マクドナルドハウス等の支援宿泊施設が休業となった為、民間のホテルを利用せざるを得なくなり、そのため宿泊費負担が増えた。さらに、患児・経験者の親がCOVID-19の拡大で仕事が減ったり、退職を余儀なくされ収入が減るという状況も起きた。

一方で、1月よりこの交通費等補助金制度の補助額を年間1家族20万円から50万円に上げたことの影響もあったと思われるが、4月までで53件、887万円と、本年の予算900万円をほとんど消化してしまう状況となった。このまま推移すると年間2,000万円を優に超えることが予測され、急遽4月に補

助金の支給基準を見直した。前述の 2 基金から助成金が決まったこともあり、病院までの移動距離と世帯収入を考慮して一家族当たり年間 20～50 万円の範囲内の給付をすることに変更した。これにより必要な補助金支給を継続出来、合計 2,300 万円超の助成を行った。

②大学生への奨学金制度は 4 年制の学生を 1 人採用した場合、4 年間で 192 万円と 200 万円近い資金を確保することが必要となる。このため、採用決定時に採用者全員が卒業するまでの資金を確保しておくことが必要となる。また、小児がんの家庭は親が比較的若いことや、ひとり親の家庭も比較的多く、COVID-19 により収入面で打撃を受けた家庭も多い。

そのため、今年も昨年 (14 名) 並みの学生に何とか支給をしたいと考え、不足分の資金をクラウドファンディングで集めることに挑戦した。結果、多くの方々のお力添えで目標の 1,000 万円 (手数料を引いて 890 万円) を達成し、結果今年は【16 名】(4 年制 10 名、2 年制 6 名) の奨学生を採用出来た。

③キャンプ助成は 12 件の申請があったが、COVID-19 の影響で、ほとんどの団体が中止せざるを得ない状況となった。ただし、3 団体はオンラインでのイベントを行い、本来の患児や家族と交流機会を持つことが出来た。参加者は 111 名、内患児 37 名であった。

④治療の結果必要となる患児のための小児用ニット帽のプレゼントは、ニーズが年々増加しており、今年も 300 人に 300 個のプレゼントをすることが出来た。

⑤また、COVID-19 の拡大により、マスクの需要が増加するなか、上記ニット帽のメーカーが小児用マスクを新たに製作、7 月よりそのプレゼントも行い、591 枚の小児用マスクを配布した。

⑥小児がん経験者の就労移行支援は、コロナの影響もあり、新しい活動が出来なかった。

【3】小児がんの治癒率向上及び QOL 向上のための研究支援については、本年は日本小児・血液がん学会内での告知も出来、応募件数 29 件と、前年の 14 件から倍増した。しかしながら、3 月に選考委員会を行った時点で、COVID-19 の影響から資金減となることが見込まれたため、残念ながら当初予算 1,400 万円の 8 割の 1,140 万円に減額することとした。助成した研究件数は 17 件となった。また、留学支援対象の研究者は COVID-19 の影響で留学先への渡欧が遅れたが、8 月 11 日にオランダ、ユトレヒトの Princess Maxima Center for pediatric oncology に着任出来た。

【4】(1) 小児がんの理解・促進のためのゴールドリボンウォーキングは、毎年、特別後援、特別協賛団体として参画しているが、今年も東京、大阪、福岡共 COVID-19 の影響で中止せざるを得なかった。

(2) 小児がんの理解・促進のための情報発信の柱である PDQ については、連携している神戸の医療推進イノベーションセンター (TRI) と関係を継続し、その最新の内容の掲載を続けた。

また、6 月に、14 年ぶりに日本で開催予定の「第 19 回国際小児脳腫瘍シンポジウム」への協賛を決め

た。これも COVID-19 の影響で 12 月に延期して開催された。

(3) 本年作成・公開を計画した「小児がんの子ども達の応援歌」は、COVID-19 の影響で作業が大きく遅れざるを得なかったが、作曲家■■■■と、小児がん経験者で編成する音楽グループ「ゴールドリボンフレンズ」のお力で、来年には完成し、披露出来る予定である。

【5】本年度は当法人の体制を強化すべく、ファンドレイジング・広報、事業活動をフルタイム職員が担当することとした。3名の正規職員を4, 5月で採用し、従来のパート社員のみの体制から強化した。特にファンドレイジング担当者を採用したことで COVID-19 の影響による資金減少への対策としての助成金やクラウドファンディングの対応をスムーズに行うことが出来た。

また、当初計画していた HP の改訂や会員及び寄付管理システムの新規導入についても予定通り行い、今後の運営強化につながる体制を作ることが出来た。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【98,784】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 小児がん支援のためのゴールドリボン普及事業	<p>①ゴールドリボンウォーキング(東京・大阪・福岡)やチャリティコンサートは全て新型コロナウイルス感染予防のため中止となる。</p> <p>②同様に飲料、食品・物品等のメーカーや販売会社とウォーキングでの活動はできなかったが、提携商品の販売による一般の方々への認知を高める活動は継続した。</p> <p>③東京マラソンは一般・チャリティランナーの参加は中止、また、大阪マラソンも中止となり、予定していたチャリティ団体としての広報活動ができなかった、</p> <p>④ホームページは12月1日より全面改定を行った。今後は外注をせず法人内でタイムリーに記事をリリースすることが可能となる。また、検索機能も設け知りたい内容が調べ易くなった。</p>	通年	全国	6名	一般市民	延べ250万人(自販機等提携商品の販売数を含む)	20,077

<p>(2) 小児がんの治癒率向上のための研究・開発者支援事業 (3) 小児がん経験者の生活の質の向上のための研究者支援事業</p>	<p>①一般公募により、選考された17の小児がんの研究グループへ助成を行った。 ②日本小児血液がん学会及びJCCG（日本小児がん研究グループ）等研究団体への助成を行った。 ③TCCSGスカラシップによる研究者留学支援を行った。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>3名</p>	<p>医師 研究者 研究機関</p>	<p>15団体 100名</p>	<p>22,108</p>
<p>(4) 小児がんに関する情報収集並びに情報提供事業</p>	<p>①公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター（TRI）が行う米国NCI作成のPDQの小児がん情報の日本語版作成への支援。（協定書を新たに作成し4月締結。寄付1,000千円は2021年支出） ②網メディカルノートが情報ネットと連携し、インターネット上で、小児がん情報を提供する活動は先方の都合により休止。</p>	<p>通年</p>	<p>インターネット</p>	<p>2名</p>	<p>一般市民</p>	<p>10万人</p>	<p>6,784</p>
<p>(5) 小児がんに関する国内外の専門家、団体、研究機関とのネットワーク構築事業</p>	<p>①小児がん経験者の集まりであるサバイバーネットワークの会員登録は452名となった。（2019年319名）</p>	<p>通年</p>	<p>インターネット</p>	<p>2名</p>	<p>小児がん 患児、経験者 とその 家族</p>	<p>1000人</p>	<p>0</p>
<p>(6) 小児がんに関するシンポジウム・講演会事業</p>	<p>①14年振りに日本で開催された「第19回国際小児脳腫瘍シンポジウム」に協賛。 *ただし、協賛金1,500千円を2019年に支出、600千円を2021年に支出予定。 *開催は6月21日～24日の予定であったが、コロナの影響により12月13日～16日に変更しオンラインでの開催となった。 ②当法人代表理事による小児がんに関する講演会を実施。*アフラック、第一生命、群馬銀行等12回実施。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>3名</p>	<p>一般市民</p>	<p>1800人</p>	<p>0</p>

<p>(7) 小児がんの知識、理解の普及・啓発事業</p>	<p>①NPO法人いのちをバトンタッチする会が作成した単行本「子どものための『いのちの授業』」を支援。 *2020年度分協賛金1,250千円は2019年12月支払い済。</p> <p>②作曲家■■■■と連携した、小児がんの子ども達の応援歌「WE ARE ONE」を作成(2021年リリース予定)。今後小児がんの理解の普及と子ども達の応援をこの楽曲を活用して行っていく。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>10名</p>	<p>一般市民</p>	<p>1300人</p>	<p>3,992</p>
<p>(8) 小児がんの子どもたち(患児、経験者及びその家族を含む)の生活の質向上のための支援事業</p>	<p>①奨学金については、全国の小児がん経験者の大学生への奨学金(予約採用型、給付型)を44名に給付し、次年度受給者として新たに16名を決定した。</p> <p>②小児がん患児とその家族が治療のため遠隔地の病院へ行くための交通費・宿泊費等の支援を161家族に行った。 *コロナの影響により2019年63家族から大幅な増加となる。</p> <p>③小児がん患児・経験者やその家族を支援する団体が実施するキャンプ、イベントへの支援はコロナの影響により中止が相次ぎ3団体のみオンラインで開催。その支援をした。</p> <p>④小児がんの患児に向けて、ニット帽子プレゼントを継続。今年度は希望者に300個の配布を実施。 また、新たにコロナに関連してマスクプレゼントも7月から実施し希望者に591枚の配布を行った。</p>	<p>通年</p>	<p>全国</p>	<p>5名</p>	<p>小児がん患児、経験者とその家族</p>	<p>1200人</p>	<p>45,823</p>

活動計算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 正会員受取会費		
正会員		80,000
2. その他受取会費		
ゴールドリボン会員	8,633,000	
賛助会員	10,886,000	19,519,000
3. 受取寄付金		
受取寄付金		107,558,201
4. 受取助成金等		
受取助成金		18,000,000
5. その他収益		
受取利息		899
経常収益計		145,158,100
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	14,793,830	
業務委託費(派遣スタッフ)	1,968,961	
法定福利費	1,629,781	
人件費計	18,392,572	
(2) その他経費		
助成金支出	44,925,073	
自立支援奨学金支出	16,560,000	
業務委託費	2,648,072	
謝金等	128,073	
印刷出版物費	1,561,966	
広報費	1,108,200	
会議費	430,200	
旅費交通費	880,059	
通信運搬費	2,616,156	
消耗品費	6,118,067	
図書・ソフトウェア	67,203	
水道光熱費	103,783	
賃借料	1,692,422	
減価償却費	33,456	
銀行手数料	247,751	
集金代行手数料	839,792	
支払手数料	430,683	
その他経費計	80,390,956	
事業費計		98,783,528
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	3,186,608	
業務委託費(派遣スタッフ)	397,065	
法定福利費	443,362	
福利厚生費	18,157	
人件費計	4,045,192	
(2) その他経費		
業務委託費	4,785,986	
印刷出版物費	6,694	
会議費	110,326	
旅費交通費	236,030	
通信運搬費	60,902	
消耗品費	499,324	
図書・ソフトウェア	23,673	
水道光熱費	99,883	
賃借料	1,038,672	
減価償却費	432,750	
諸会費	65,750	
租税公課	7,100	
研修費	64,802	
銀行手数料	27,940	
支払手数料	20,673	
その他経費計	7,480,505	
管理費計		11,525,697
経常費用計		110,309,225
当期経常増減額		34,848,875
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		34,848,875
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		34,848,875
前期繰越正味財産額		92,140,862
次期繰越正味財産額		126,989,737

貸借対照表
令和2年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	56,646,313	
金券	57,872	
未収金	640,156	
立替金	167,112	
特定資産(自立支援基金)	69,302,144	
流動資産合計		126,813,597
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	81,770	
有形固定資産計	81,770	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	2,577,064	
無形固定資産計	2,577,064	
(3)投資その他の資産		
敷金	187,077	
投資その他の資産計	187,077	
固定資産合計		2,845,911
資産の部合計		129,659,508
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	441,018	
未払費用	2,228,753	
流動負債合計		2,669,771
負債の部合計		2,669,771
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		92,140,862
当期正味財産増減額		34,848,875
正味財産の部合計		126,989,737
負債の部及び正味財産の部合計		129,659,508

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいた定額法で償却をしています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	ゴールドリボン 普及事業	小児がん治療率 向上のための研 究支援事業	小児がん情報の 収集と提供事業	小児がんの知識・ 理解の普及・啓発 事業	小児がん患者と 家族のQOL向上 支援事業	合計
(1) 人件費						0
役員報酬						
給料手当	4,671,059	532,095	2,646,701	3,323,842	3,620,133	14,793,830
業務委託費(派遣スタッフ)	155,889		1,189,520		623,552	1,968,961
法定福利費	473,915	56,036	320,447	373,595	405,788	1,629,781
人件費計	5,300,863	588,131	4,156,668	3,697,437	4,649,473	18,392,572
(2) その他経費						
助成金支出		21,250,522			23,674,551	44,925,073
自立支援奨学金支出					16,560,000	16,560,000
業務委託費	1,352,021		1,294,051	2,000		2,648,072
謝金等		100,233			27,840	128,073
印刷出版物費	1,078,496		483,470			1,561,966
広報費	688,000		420,200			1,108,200
会議費	430,200					430,200
旅費交通費	323,669	49,303	138,692	188,495	179,900	880,059
通信運搬費	2,616,156					2,616,156
消耗品費	4,886,340	120,779	276,470	103,601	730,877	6,118,067
図書・ソフトウェア	67,203					67,203
水道光熱費	103,783					103,783
賃借料	1,692,422					1,692,422
減価償却費	19,250		14,206			33,456
銀行手数料	248,521	△ 770				247,751
集金代行手数料	839,792					839,792
支払手数料	430,463				220	430,683
その他経費計	14,776,316	21,520,067	2,627,089	294,096	41,173,388	80,390,956
事業費合計	20,077,179	22,108,198	6,783,757	3,991,533	45,822,861	98,783,528

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は126,989,737円ですが、そのうち5,968,446円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されて
いない正味財産は121,021,291円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
新型コロナウイルス感染症: 拡大防止活動基金		8,000,000	8,000,000	0	小児がん交通費など補助金制度
みてね基金		10,000,000	4,031,554	5,968,446	小児がん交通費など補助金制度
合計	0	18,000,000	12,031,554	5,968,446	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	245,408			245,408	△ 163,638	81,770
無形固定資産						
ソフトウェア	2,422,440	1,155,000		3,577,440	△ 1,000,376	2,577,064
合計	2,667,848	1,155,000	0	3,822,848	△ 1,164,014	2,658,834

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
正会員受取会費	80,000	40,000	
その他受取会費	19,519,000		156,000
受取寄付金	107,558,201	2,488,846	935,707
集金代行手数料	839,792		66,407
活動計算書計	127,996,993	2,528,846	1,158,114
(貸借対照表)			
立替金	167,112		167,112
貸借対照表計	3,036,021	0	167,112

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給与手当・業務委託費については従事割合、地代家賃・水道光熱費については使用割合に基づき按分しています。

財産目録

令和2年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	5	
金券	57,872	
普通預金 みずほ銀行	40,809,644	
普通預金 三菱UFJ銀行	10,078,196	
普通預金 ゆうちょ銀行	5,758,468	
未収金		
コンビニ収納代金未収	32,000	
クレジット代金未収	594,456	
ソフトバンク募金代金未収	13,700	
立替金	167,112	
特定資産		
自立支援基金	69,302,144	
流動資産合計		126,813,597
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
ノートパソコン 1台	1	
電話機	81,769	
有形固定資産計	81,770	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア		
会員管理システム	1,441,314	
WEBサイト制作費	1,135,750	
無形固定資産計	2,577,064	
(3)投資その他の資産		
敷金	187,077	
投資その他の資産計	187,077	
固定資産合計		2,845,911
資産合計		129,659,508
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金		
源泉所得税預り金(給料、報酬)	183,649	
住民税預り金	16,100	
社会保険料等預り金	241,269	
未払費用		
職員人件費 12月分	1,737,606	
業務委託費 12月分	491,147	
流動負債合計		2,669,771
負債合計		2,669,771
正味財産		126,989,737

2020年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○(理事) 監事	マツイヒデフミ	[REDACTED]	2020年1月1日	年 月 日
		松井 秀文		~	~
2020年12月31日	年 月 日				
2	○(理事) 監事	ウエダシゲル		2020年1月1日	年 月 日
		上田 茂		~	~
2020年12月31日	年 月 日				
3	○(理事) 監事	カワニシユミコ		2020年1月1日	年 月 日
		川西 由美子		~	~
2020年12月31日	年 月 日				
4	○(理事) 監事	ササキイクオ		2020年1月1日	年 月 日
		佐々木 郁夫	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				
5	○(理事) 監事	レイクセイコ	2020年1月1日	年 月 日	
		レイク聖衣子	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				
6	○(理事) 監事	ナカヤマコウジ	2020年1月1日	年 月 日	
		中山 晃司	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				
7	○(理事) 監事	オノマサト	2020年1月1日	年 月 日	
		小野 正人	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				
8	○(理事) 監事	イソナカジュン	2020年2月26日	年 月 日	
		磯中 淳	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				
9	○(理事) 監事	マノナオミ	2020年2月26日	年 月 日	
		眞野奈緒美	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				
10	理事 ○(監事)	イトウヒトシ	2020年1月1日	年 月 日	
		伊藤 齊	~	~	
2020年12月31日	年 月 日				

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 ゴールドリボン・ネットワーク

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	松井 秀文	
2	上田 茂	
3	川西 由美子	
4	佐々木 郁夫	
5	レイク聖衣子	
6	中山 晃司	
7	小野 正人	
8	磯中 淳	
9	眞野奈緒美	
10	伊藤 齊	